

川崎市市民ミュージアム 台風第19号による浸水被害への対応状況について

川崎市市民ミュージアムは、台風第19号により、地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず、収蔵品にも大きな被害が発生しました。

現在、市民ミュージアムの復旧等に向け庁内体制を整備するとともに、文化庁の支援のもと国立文化財機構などから派遣される専門家の助言を得ながら、収蔵品レスキューを最優先に取組を進めています。

収蔵品レスキューを本格化させるため、12月初旬までに作業環境の整備を行い、作品等の洗浄や乾燥といった応急処置、一時保管など一連の作業を効率的に実施し、今年度中を一定の目途として、収蔵品レスキューの取組を進めてまいります。

1 被害の概要

(1) 施設の被害

地階部分に雨水が大量に入り込んだことにより、諸室（機械室、電気室、発電機室等）が浸水し、館内の電気設備や空調が使用不能となりました。現在は仮設キュービクル（受変電設備）の設置により、一部電気・水道の利用が可能となっています。

(2) 収蔵品の被害

地階にある9つの収蔵庫も全て浸水し、多くの収蔵品に浸水の被害を確認しました。

なお、収蔵品 約26万点中（※1）、館外貸出を行うなど、収蔵庫等で保管していなかった約3万1千点（※2）は、浸水の被害を受けておりません。

収蔵品の被害状況については、個々の作品等の搬出作業の中で確認を行っており、今後適宜明らかにしてまいります。

※1 収蔵品 約260,000点

・考古	約 72,000 件	・歴史	約 29,350 件
・民俗	約 21,200 点	・美術文芸	約 11,500 点
・グラフィック	約 10,000 点	・写真	約 20,250 点
・漫画	約 64,000 件	・映画	約 12,500 点
・ビデオ	約 19,000 点		

※2 浸水被害を受けていない収蔵品 約31,000点

館外貸出	：	83点	[民俗 25点、美術文芸 1点、グラフィック 21点、写真 36点] (アルフォンス・ミュシャのグラフィック 16点 など)
1階特別資料室	：	375点	[美術文芸 約250点、民俗 約75点、映画 約50点] (圓鏝勝三の彫刻、大型農具など)
2階常設展示室	：	754点	[考古 443件、歴史 170件、民俗 141点] (縄文土器片、川崎大師平間寺図絵など)
昔の暮らし展	：	130点	[歴史 15件、民俗 115点]
のらくろ展	：	183点	[漫画 183点]
3階など館内	：	約 29,800点	[ビデオ 約17,000点、写真 約12,000点、漫画約800件] (19世紀写真集など)

2 これまでの経過・対応内容

- 10月12日 地下への大量の水の流入を指定管理者が確認
- 13日 排水作業開始
- 18日 収蔵庫内の状況確認 収蔵庫内への浸水確認
- 18日 寄託者・寄贈者へのお詫びの電話連絡開始
- 22日 搬出経路確保のための内装等一部解体工事開始
- 22日 収蔵品搬出開始（企画展借用作品、映像フィルムの一部を搬出）
- 23日 仮設発電機の設置
- 23日 文化庁へ救援等にかかる技術的支援の要請
- 24日 文化庁文化財等災害対策委員会により技術的支援を実施決定
※国立文化財機構を通じて多くの専門家を派遣いただいています。
- 28日 セキュリティ確保のための仮囲いの設置開始（11/8完了）
- 31日 寄贈者へのお詫び文送付
- 11月14日 収蔵品の修復に向けたふるさと応援寄附金受付開始
※11月29日現在 寄附金 77件 約75万円
- 20日 市民ミュージアムの復旧等に関する庁内検討会議設置
- 27日 仮設キュービクル（受変電設備）の設置 [写真①]
- 30日 施設前広場に仮設ユニットハウスの設置（※1） [写真②]
- 12月6日 施設前広場に冷蔵・冷凍コンテナの設置（※2）（予定）

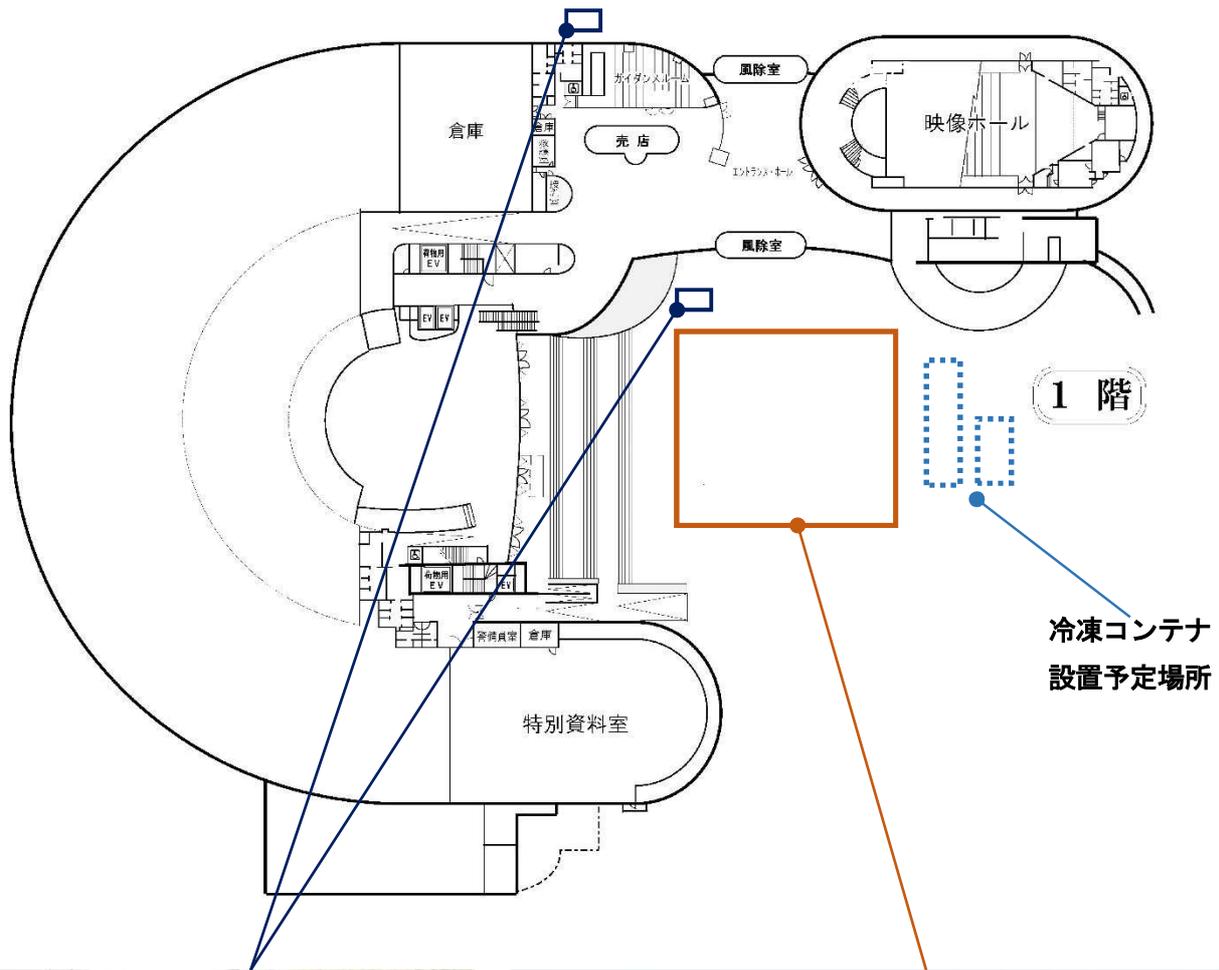
※1 仮設ユニットハウス

- 用途 : 現場事務所、倉庫等
- 床面積 : 2階建て 1,072 m²
- 設備 : 空調、消防用設備等

※2 冷蔵・冷凍コンテナ（2台）

- 用途 : 倉庫等
- 大きさ（上段＝面積、下段＝容量）：
 - ①約 15 m²（20 フィートタイプ）
約 37 m³
 - ②約 30 m²（40 フィートタイプ）
約 74 m³

3 市民ミュージアムの作業環境整備の状況



4 各収蔵庫の状況

(1) 第1収蔵庫

民俗関係（農具や生活用具等）を収蔵。



収蔵品の材質が木やワラのものも多く、排水後に収蔵庫内の状況確認をした際に、既に大量のカビが発生していたため、他の収蔵庫への蔓延を防止するために扉を一時的に密封。

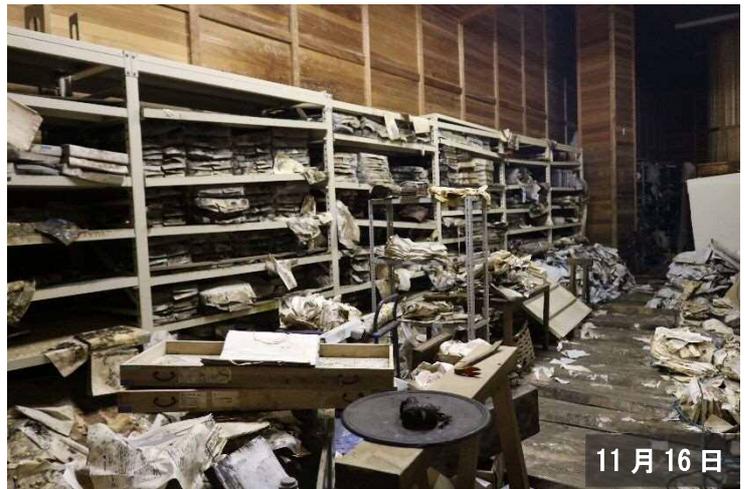
(2) 第2収蔵庫

土器等の出土品を収蔵。



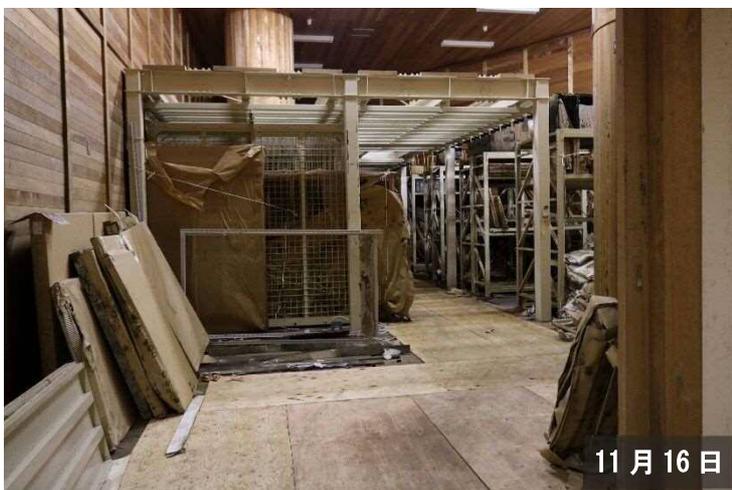
(3) 第3 収蔵庫

県及び市の指定文化財や古文書等を収蔵。



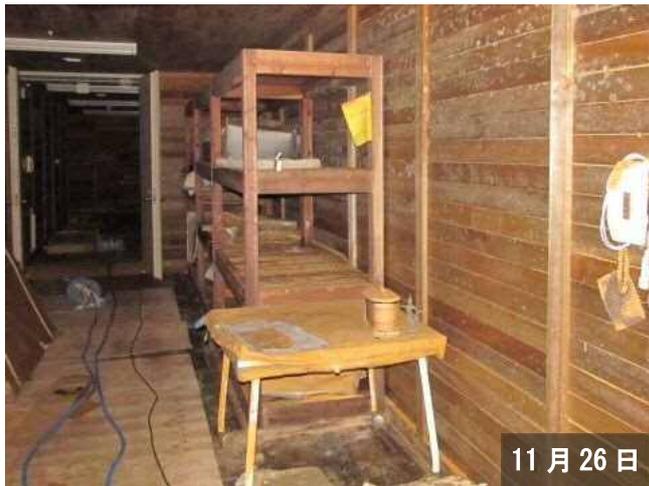
(4) 第4 収蔵庫

著名な作家や市ゆかりの作家の絵画作品等を収蔵。



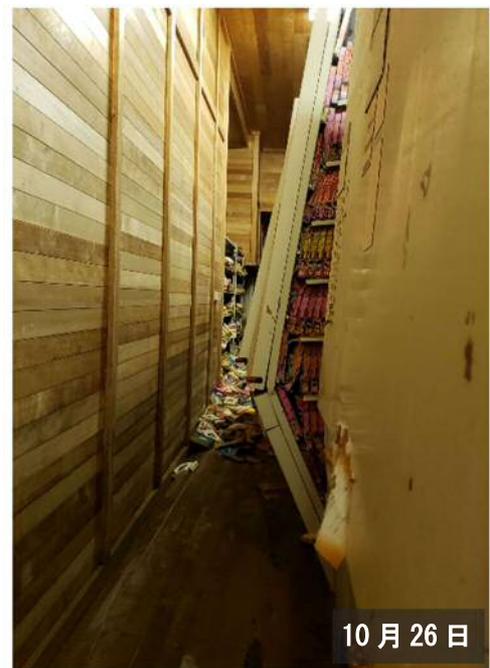
(5) 第5 収蔵庫

絵画や借用作品等を収蔵。



(6) 第6 収蔵庫

マンガ（雑誌）等を収蔵。



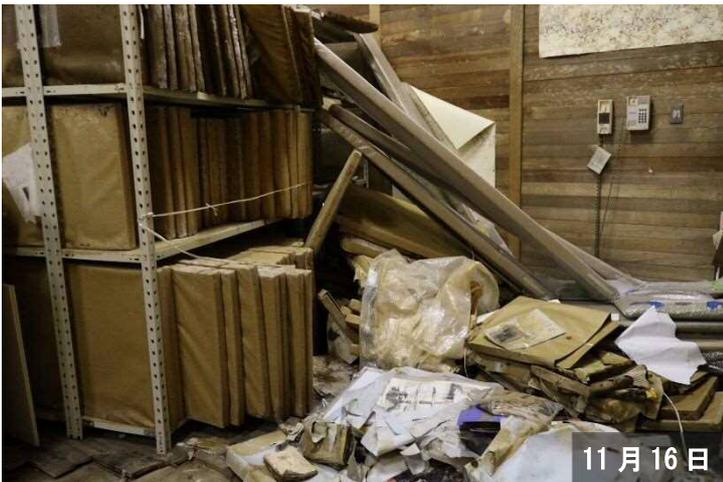
(7) 第7 収蔵庫

グラフィック作品等を収蔵。



(8) 第8収蔵庫

写真の作品やネガ、漫画の原画等を収蔵。



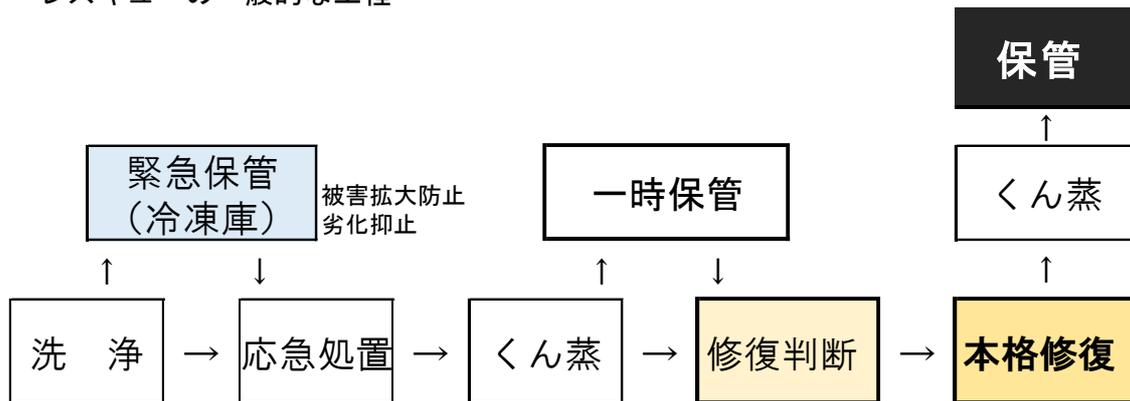
(9) 第9収蔵庫

映画フィルム、戦前・戦後の日本のニュースや川崎のニュース映像作品等を収蔵。



5 収藏品レスキューの工程・支援体制

(1) レスキューの一般的な工程



洗 浄：汚れ等の洗浄

緊急保管：紙作品のカビの増殖等を防止するため、冷凍倉庫等で冷凍

応急処置：作品の劣化、例えば紙作品同士の付着を防ぐため乾燥等の処置を行う

く ん 蒸：密閉した部屋、建物の中において、無人状態で害虫の駆除、防カビや殺菌するため、気体の薬剤を美術品等の作品、資料に浸透させる

一時保管：本格修復を行うまでに、温湿度管理ができる倉庫等で一時的に保管する

修復判断：修復方法、期間、費用等を確認し、本格修復実施の判断を行う

本格修復：作品の状態に合わせた専門家による修復

保 管：修復が完了した作品等を適切な温湿度管理の元で保管する

(2) レスキュー支援体制

これまでに支援に来ていただいた団体 11月30日現在

文化遺産防災ネットワーク推進会議（6団体）
独立行政法人国立文化財機構
独立行政法人国立美術館
大学共同利用機関法人人間文化研究機構
全国美術館会議
全国歴史民俗系博物館協議会
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）

その他支援団体（6団体）
神奈川県博物館協会
一般社団法人国宝修理装填師連盟
神奈川県教育委員会文化遺産課
日本大学芸術学部写真学科
東京大学史料編纂所
学校法人専門学校 東洋美術学校

(3) レスキュー作業の状況写真



※作業者の安全管理のため、防護服等を着用しています。

6 収蔵品レスキューの優先順位の考え方

市民ミュージアムでは9つの収蔵庫が全て浸水し、多くの収蔵品が被害を受けたことから、次の優先順位を総合的に勘案しながら、収蔵品レスキューを行っていきます。

(1) 性質や修復の観点から見た優先順位

- ・映画や8ミリのフィルムや写真のネガ等が生ものなので、優先順位が高い。
[映像フィルム（原版フィルム等）、ダゲレオタイプの写真、重要なネガ]
- ・日本画、古文書、漫画の原画等の紙作品は優先順位が高い。

(2) 文化財等の指定の観点から見た優先順位

- ・県及び市の指定文化財の優先順位が高い。 [県（1点）及び市（24点）の指定文化財]

(3) 収蔵手法別の観点から見た優先順位

- ・借用作品、寄託作品、寄贈作品、購入作品の順。

(4) 市の博物館、美術館の観点から見た優先順位

- ・博物館的には、指定文化財や市の歴史をたどる歴史資料等の優先順位が高い。
- ・美術館的には、著名な作家の作品、市ゆかりの作者の作品等の優先順位が高い。

7 収蔵庫等からの主なレスキュー状況（12月4日現在 速報）

(1) 企画展の借用作品

104点 全て搬出

(2) 収蔵品〔分野別〕（※点数は浸水被害を受けていない収蔵品を除いた数）

ア 考古（約 71,600 件）

搬出なし

イ 歴史（約 29,200 件）

指定文化財8件（県指定1件、市指定7件）、古文書等約170件を搬出

ウ 民俗（約 20,800 点）

搬出なし

エ 美術文芸（約 11,200 点）

絵画（安田靉彦作品、大矢紀作品）約640点搬出

オ グラフィック（約 10,000 点）

ポスター（トゥールーズ・ロートレック作品など）40点搬出

カ 写真（約 8,200 点）

ダゲレオタイプ等 約440点搬出

キ 漫画（約 63,000 件）

漫画原画 89箱分（件数は調査中）搬出

ク 映画（約 12,500 点）

映画フィルム（神奈川ニュースなど）約340点搬出

ケ ビデオ（約 2,000 点）

搬出なし

8 継続して実施する事業

(1) かわさき市美術展の開催

令和2年1月25日から開催を予定していた公募展「第53回 かわさき市美術展」については、半世紀以上の歴史を持つ公募展であることから、市民の文化芸術振興の場を継続させるため、会場、日時及び応募期間などを変更し開催します。

【変更点の内容】

項目	変更前	変更後
作品搬出入及び 展示会場	川崎市市民ミュージアム	ミュージア川崎シンフォニーホール 4階 企画展示室
応募期間	令和元年10月1日(火)～ 12月8日(日)	令和元年10月1日(火)～ 令和2年1月15日(水)
搬入日	令和元年12月14日(土)・15日(日)	令和2年2月1日(土)・2日(日)
展示期間	令和2年1月25日(土)～ 2月8日(土)	令和2年2月21日(金)～ 3月7日(土)

(2) 社会科教育推進事業

小学4年生を対象に二ヶ領用水の学習等のため実施している社会科教育推進事業は、来館しての実施はできませんが、小学校から要望があった場合は、ミュージアムから学芸員が小学校に出向いて講座等を行うなどにより、事業を継続していきます。

(3) 図録等の販売

これまで市民ミュージアムで発行した図録等について、通信販売のみになりますが、販売を継続します。

※詳細は市民ミュージアムホームページをご覧ください。

川崎市市民文化局市民文化振興室

担当 永石

電話 044-200-2294 (直通)